正副各1部ずつ、計2部をセンターにお持ちください。提出書類は、以下の表によります。

こどもみらい住宅支援事業対象住宅証明書審査申請の必要書類

必要書類・図書		明示すべき内容
1	こどもみらい住宅支援事業 対象住宅証明依頼書	様式に記載のある項目すべて
2	自己評価書 兼 設計内容説明書	評価項目の自己評価結果、自己評価の根拠となる設計内容
3	付近見取り図	方位、道路及び目標となる地物
4	配置図	縮尺、方位、敷地境界線、敷地内における建物の位置、申請に係る建築物と他の建築物との別
5	仕様書（仕上表を含む。）	部材の種別及び寸法、設備の種別、断熱材の種別及び寸法
6	各階平面図	縮尺、方位、間取り、各室の名称及び用途、壁の位置、開口部の位置及び構造、各室の寸法
7	床面積求積図	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式
8	用途別面積表	用途別の床面積
9	二面以上の立面図	縮尺、外壁及び開口部及び設備の位置
10	断面図又は矩計図	縮尺、床の高さ、各階の天井の高さ、軒及びひさしの出、軒の高さ、建築物の高さ、 基礎の立上り及び土間の高さ、並びに外壁、屋根、天井、小屋裏、床、床下及び基礎の構造、 並びに断熱材の位置、種別及び寸法
11	基礎伏図	縮尺、構造躯体の材料の種別及び寸法、並びに断熱材の位置、種別及び寸法、 並びに基礎パッキンの種別及び範囲
12	各部詳細図	縮尺並びに各部の材料の種別及び寸法
13	各種計算書	計算を要する場合における当該計算の内容
14	機器表	設備の種別、位置、仕様、数及び制御方法
15	系統図	エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備
16	その他資料	各種計算書の根拠となる数値等（JIS規格を含む）
備考	・設計内容説明書には、申請を行う建築物について該当する項目にのみ記入してください。 ・各図書において方位を記載する際、当該方位の示す方位が「真北」であること、及び「真北と建物の振り角」を明示してください。 ・部位の熱貫流率の計算に算入した部材の根拠はすべて設計図書に明示してください。 （下屋の天井や、UBの外壁・天井に設置されるせっこうボード、また、外気に接する床の仕様等の記載を特に注意ください。） ・天井断熱の場合、各室ごとに天井高さを明示してください。勾配天井の場合は天井の形状、最低高さ、最高高さを明示してください。 ・各種計算書は申請時点で使用できるバージョンを確認のうえ提出ください。 ・計算書の根拠となる数値やJIS規格等はメーカー公開の資料、もしくは設計図書への特記が必要です。	

※1 図書に明示すべき事項を当該図書以外の図書に明示する場合においては、当該図書に当該事項を明示することを要しない。

※2 当該図書に明示すべき事項のすべてについて明示することを要しないときは、当該図書は必要書類ではないものとする。

一般財団法人大分県建築住宅センター